

令和8年第4回 桑折町教育委員会定例会 会議録（要約）

1. 会議の概要

開催日時：令和8年3月23日（月）午後1時30分開会 午後3時33分閉会

場 所：桑折町役場 中会議室

出席者：教育長 佐藤浩哉、教育委員4名（柴田宣広、鈴木キヨ子、小野紀章、長谷富子）

欠席者：なし

事務局等出席者：教育文化課長 八巻靖之、副参事 佐藤克彦

書 記：主任主査兼こども教育係長 菅野健二

傍聴人：なし

2. 教育長あいさつ

本定例会が今年度最後の会議であることを申し上げ、午前中の小学校卒業式への出席に感謝を述べた。総合教育会議は3月25日の午後4時から開催予定であることを報告。

教育長着任以来、間もなく2年となることを振り返り、義務教育学校への教育委員会方針の確認、学力向上委員会との施策確認、西山城シンポジウムなど、様々な経験を積んだことを報告。教育委員、課長、副参事、係長をはじめ教育文化課の職員への感謝を表明。

本日の議事として、報告3件と議案6件であることを説明。

3. 会議非公開の決定

報告（3）および議案第15号について、教育長から「個人情報に関わる内容のため、非公開で審議したい」との発言。委員に諮ったところ全員異議なく非公開とすることが決定。

4. 報告事項

（1）教育行政報告

八巻教育文化課長から教育行政全般について報告が行われ、これに対する質疑はなかった。

（2）令和8年第2回桑折町議会定例会報告

八巻教育文化課長から「令和8年第2回桑折町議会定例会報告」について報告があり、質疑応答が行われた。

小野委員：「分散型チェーンスクール」「パッケージスクール」「IB教育」について、詳しく説明してほしいと質問。

佐藤教育長：分散型チェーンスクールは、どこの学校でも特色ある均一化した教育をやっていくイメージで、塾などでやっている方式。パッケージスクールは、講師と教材の部分だけを持ち込んで行うもの。うまく利用すれば活用も可能。IB教育は、インターナショナルバカロレアの略。探求型学習と非常に似ており、知識よりも考えること、問いを自分で見つけ出して、探求していくことを教育の主に行っていると回答。

(3) 中学生進路状況について（非公開）

5. 議事

(1) 議案第10号 桑折町立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について

佐藤教育長が、事務局に議案第10号の説明を求め、教育文化課長から説明が行われた後、質疑に移った。

佐藤教育長：ご質問がないようですので、議案第10号について、原案のとおり決定することにご異議がないかを諮った。

（委員全員より「異議なし」の声）

佐藤教育長：異議なしと認め、原案のとおり決定した。

(2) 議案第11号 桑折町公共施設等総合管理計画個別計画（教育・子育て施設編）について

佐藤教育長が、事務局に議案第11号の説明を求め、教育文化課長から説明が行われた後、質疑に移った。

佐藤教育長：ご質問がないようですので、議案第11号について、原案のとおり決定することにご異議がないかを諮った。

（委員全員より「異議なし」の声）

佐藤教育長：異議なしと認め、原案のとおり決定した。

(3) 議案第12号：桑折町図書活動推進計画（第2次改定版）について

佐藤教育長が、事務局に議案第12号の説明を求め、教育文化課副参事から説明が行われた後、質疑に移った。

柴田委員：「日課表に朝などの読書時間を位置づけ」とあるが、朝の時間は陰山メソッドによる100マス計算を取り入れているはずで、バランスは取れているのかと質問。

佐藤教育長：活動以外に余分な時間ができたら読書をしていいという形でやっており、学校で柔軟に対応している。以前、中学校では朝に入れていたが、今回は掃除の時間の前や、お昼休みに変更したと説明。小学校では業間の前などにも入っている。朝読書の時間を設定している学校は少ないので、「朝など」の記載は削除し、日課表に位置付けるだけで十分であるとの見解。

長谷委員：「家庭における読書習慣づくりのため、家庭・地域を巻き込んだ読書活動を推進していきます」の記載について、具体的な取り組みは考えているのかと質問。

佐藤副参事：具体的な家庭での取り組みについて、家読の推進、ブックスタート、家庭で親が読み聞かせを挙げた。また、地域での取り組みについて、読み聞かせボランティア団体が学校に出向いて授業の中で読み聞かせを実施。町の図書室「よも〜よ」で季節ごとに様々な読書イベントを開催し、子どもから大人まで本に触れてもらう機会を

創出していることを説明。

長谷委員：「地区公民館における読書活動の推進」で「よも～よ」に司書を配置とあるが、学校司書とは別に配置しているのかと質問。

佐藤副参事：学校司書として1名配置。「よも～よ」には7時間勤務のパートタイムで司書を1名配置と説明。

長谷委員：公民館等における読書活動で「読書推進企画の推進」の表現を指摘。

佐藤副参事：「読書推進企画」を「読書推進の企画」に修正する案を提示。

長谷委員：同意。もう一つ「読書へのいざない活動の啓発」の表現を指摘。

佐藤教育長：いざない活動を啓発するのではなく、いざない活動をしてはいかがですかという意味であり、啓発する人や読書しませんかという人材を増やしていきたいと説明。

小野委員：「読書推進を担う人材育成」という提案があり、これを採用することで合意。

小野委員：「よも～よ」に司書が配置されてから、ぬいぐるみのお泊まり会やガチャ本、読みくじなど、毎年いろいろな企画を実施していることを高く評価。今後も推進してほしいと意見。一方で、町の中に本屋、本を買える場所がないのが気がかりであると懸念を表明。福島市の曾根田駅前での古本市、二本松市の情報館での古本市などのイベント、移動式書店での販売など、本に触れる機会、買える機会を増やすイベントを検討してほしいと提案。

佐藤副参事：「よも～よ」の司書を含め、職員が知恵を出し合いながら、季節ごとにいろいろな企画を開催していることを説明。「よも～よ」で本屋とタイアップしたイベントなど、今後の事業の中で取り組みについて検討することを示した。

鈴木委員：読み聞かせの読書推進を担う人材育成について、中学生がボランティアで社協の手伝いをしたり、子どもの世話をしたりする機会に、読み聞かせ体験をさせてはどうかと提案。また、家読の現状について、半田醸芳小学校の例として、10回続けると図書カードがもらえ、クラスで到達すると2,000円の図書カードがもらえて、クラスで本が買える仕組みがある。このような試みは良いと評価。

佐藤教育長：中学生の職場体験において、幼稚園などで職場体験をする中学生は読み聞かせの機会を持っていると説明。家読については、毎月23日を家読の日と決めている。年間10回やると賞がもらえると説明。本を読むという契機になっていると見解。小規模校の方が徹底されており、睦合小学校は100%くらい家庭で実践。他の学校でも頑張っていると説明。賞品の図書券は、桑折町自体が図書費について各学校に非常に多く配分しており、豊かな図書費がある説明。

佐藤教育長：議案第12号について、原案を一部修正して決定することにご異議がないかを諮った。

(委員全員より「異議なし」の声)

佐藤教育長：異議なしと認め、原案を一部修正して決定した。

(4) 議案第13号：桑折町立学校に勤務する教育職員が業務を行う時間の上限に関する規則の

一部を改正する規則

佐藤教育長が、事務局に議案第13号の説明を求め、教育文化課長から説明が行われた後、質疑に移った。

佐藤教育長：ご質問がないようですので、議案第13号について、原案のとおり決定することにご異議がないかを諮った。

（委員全員より「異議なし」の声）

佐藤教育長：異議なしと認め、原案のとおり決定した。

(5) 議案第14号：桑折町特別支援教育支援員設置に関する規則の一部を改正する規則

佐藤教育長が、事務局に議案第14号の説明を求め、教育文化課長から説明が行われた後、質疑に移った。

柴田委員：「この規則は、令和3年4月1日から施行する」とあるが、この指針が令和7年だと、矛盾していないかとの指摘。

事務局：「この規則は、令和3年4月1日から施行する。」の下に「この規則は、令和8年4月1日から施行する。」という記載を加えるべきで、追加記載の依頼と謝罪。

佐藤教育長：議案第14号について、原案のとおり決定することにご異議がないかを諮った。

（委員全員より「異議なし」の声）

佐藤教育長：異議なしと認め、原案のとおり決定した。

(6) 議案第15号：令和8年度小中学校教職員人事の内申の変更について（非公開）

（非公開で審議し、全会一致で原案のとおり決定）

6. その他

(1) 次回の定例会開催日程（予定）について

定例会：4月24日（金）午後1時30分 役場 中会議室

(2) 今後の日程について

(3) その他